



平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 1 月 31 日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5334 URL <http://www.ngkntk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 尾堂 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 磯部 謙二 (TEL) 052 (872) 5918
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 2 月 14 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	204,415	△0.6	20,825	△16.9	19,163	△17.9	14,290	△26.4
23 年 3 月期第 3 四半期	205,646	15.9	25,057	416.1	23,337	384.8	19,420	918.7

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 3 四半期 6,415 百万円 (△48.3%) 23 年 3 月期第 3 四半期 12,398 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 3 四半期	65.65	—
23 年 3 月期第 3 四半期	89.14	88.36

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	326,617	219,565	66.8
23 年 3 月期	337,318	218,159	64.2

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 3 四半期 218,045 百万円 23 年 3 月期 216,478 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	11.00	—	11.00	22.00
24 年 3 月期	—	11.00	—	—	—
24 年 3 月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	265,000	△1.6	25,000	△13.1	24,000	△12.3	20,000	△15.5	91.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	223,544,820株	23年3月期	229,544,820株
24年3月期3Q	5,861,897株	23年3月期	11,839,416株
24年3月期3Q	217,689,101株	23年3月期3Q	217,853,951株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

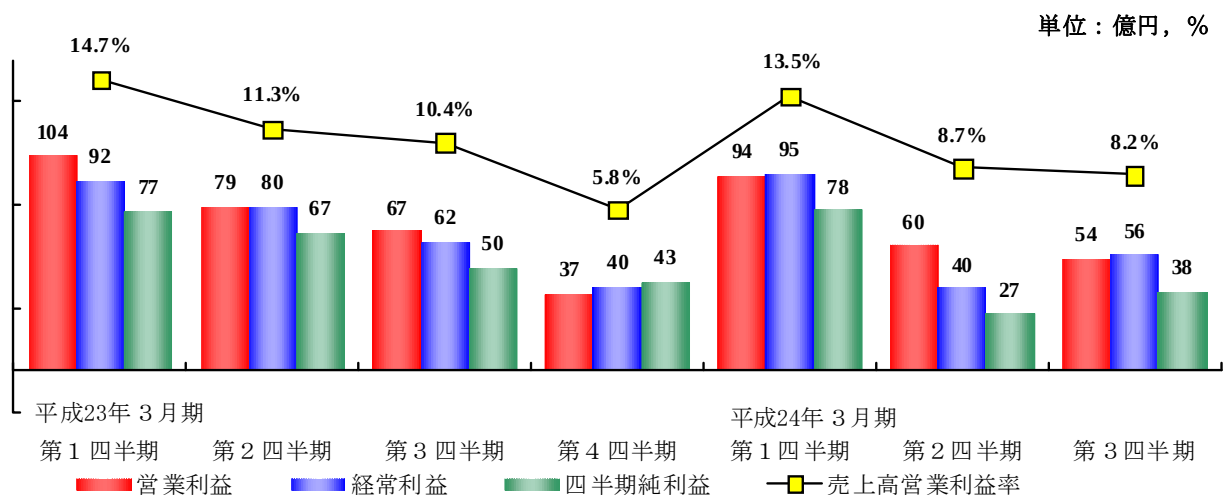
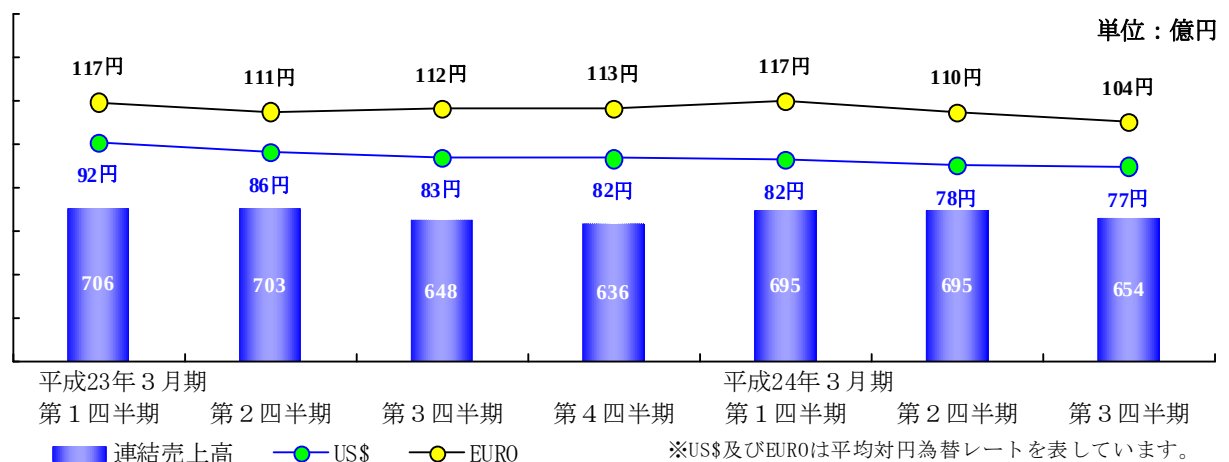
(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における世界経済は、アジアでは中国やインドなどを中心に内外需の拡大に支えられ高成長を維持してきましたが、その拡大ペースに減速感が見られるようになり、欧州経済減速の影響による輸出の鈍化や、タイにおける大規模な洪水被害がアジア経済の成長ペースを抑制しました。欧州ではソブリン債務問題が深刻化し、ユーロ加盟国において債務危機回避のための包括戦略が合意されたものの、依然、先行き不透明感が強い状況です。また米国では緩やかな回復を続けているものの、雇用問題や財政赤字問題を抱え、更には欧州債務危機の波及リスクが深刻な懸念となっています。わが国経済におきましても世界経済減速の影響や欧米の信用不安を受け、株式市場は低迷、為替市場では円高が進行し、対ドル相場は戦後最高値を更新、対ユーロ相場も昨年末に約10年半ぶりに100円割れという超円高水準となり、輸出関連企業の業績悪化が懸念されています。

当社グループが主要な事業基盤とする自動車業界は、米国、欧州を中心に世界的に販売は堅調に推移していますが、日系自動車メーカーにおいては、東日本大震災からの復旧が進んだ一方で、タイの大洪水により部品調達に支障が生じ、生産停止を余儀なくされ海外生産が減少しました。

情報通信関連事業及びセラミック関連事業における半導体業界は、世界的にスマートフォンの販売が好調に推移し、またタブレット型パソコンなどのモバイル端末の普及が進んでいます。一方、国内における企業のIT投資は震災後、回復に向かい、今後は震災復興に向けた財政支出も期待される状況です。

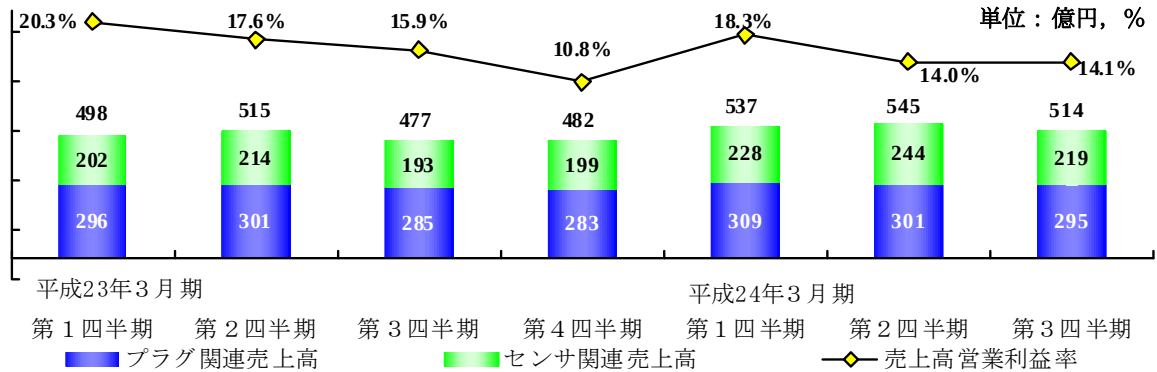
このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,044億15百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益208億25百万円（前年同期比16.9%減）、経常利益191億63百万円（前年同期比17.9%減）となり、四半期純利益は142億90百万円（前年同期比26.4%減）となりました。



〈自動車関連〉

当事業は、新車組付用市場では、日系自動車メーカー各社において震災やタイの洪水影響による生産調整がありましたが、北米、欧州を中心に出荷が堅調に推移しました。また補修用市場においても北米や新興国における販売が好調でした。

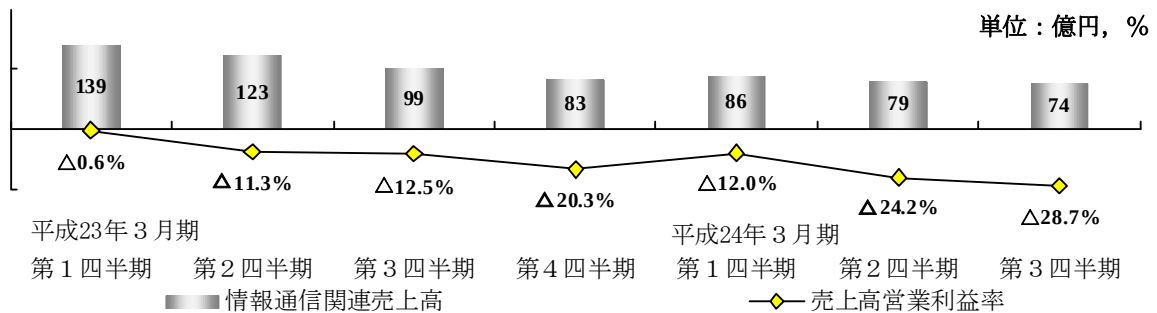
この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,596億42百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は247億30百万円（前年同期比7.5%減）となりました。



〈情報通信関連〉

当事業は、パソコンや携帯電話、民生機器用途の製品出荷が堅調に推移してきたものの客先受注が伸び悩み、また為替相場における円高影響で売上高が目減りし、厳しい状況となっています。

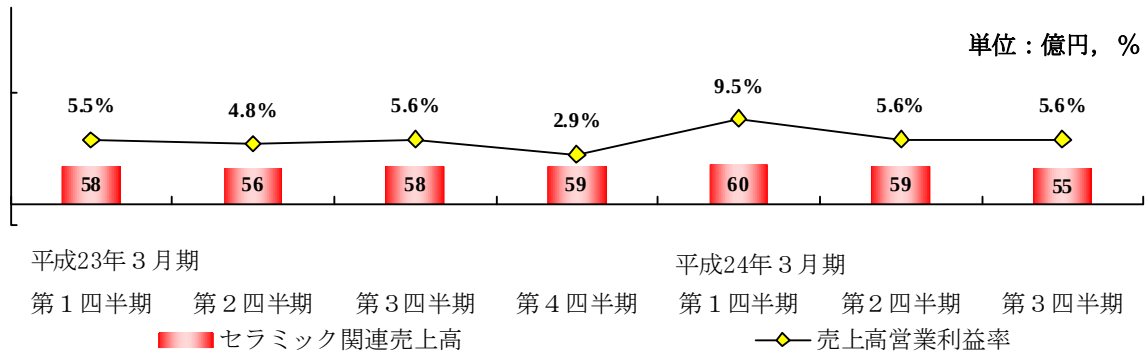
この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は240億31百万円（前年同期比33.5%減）、営業損失は51億1百万円（前年同期は27億11百万円の営業損失）となりました。



〈セラミック関連〉

当事業は、欧州地域での販売にやや落ち込みがみられるものの、全体的には工作機械向けや半導体製造装置向けの製品出荷が堅調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は174億58百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は12億10百万円（前年同期比33.5%増）となりました。



(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産等の状況)

	流 動 資 産	固 定 資 産	総 資 産	負 債	純 資 産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期第3四半期	197,602	129,015	326,617	107,052	219,565
23年3月期	191,062	146,255	337,318	119,158	218,159

当第3四半期末の総資産は、たな卸資産の減少などにより前連結会計年度末比 107 億円減少の 3,266 億 17 百万円となりました。また負債は、主として買掛金の減少により、前連結会計年度末比 121 億 6 百万円減少の 1,070 億 52 百万円となりました。

純資産は、主として四半期純利益により、前連結会計年度末比 14 億 6 百万円増加の 2,195 億 65 百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

(累 計 期 間)	営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四 半 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期第3四半期	13,526	△12,764	△4,641	47,064
23年3月期第3四半期	21,854	△15,666	△4,276	46,568

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比 83 億 27 百万円減少の 135 億 26 百万円となりました。主として税金等調整前四半期純利益が減少したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 29 億 1 百万円減少の 127 億 64 百万円となりました。主として投資有価証券の取得が減少したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 3 億 64 百万円増加の 46 億 41 百万円となりました。主として配当金支払によるものです。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額 9 億 45 百万円を引いた純額で 48 億 23 百万円減少し、470 億 64 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 23 年 10 月 31 日に公表した業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,274	23,297
受取手形及び売掛金	44,393	48,293
有価証券	40,915	50,152
たな卸資産	62,086	59,678
繰延税金資産	8,100	7,881
その他	8,408	8,432
貸倒引当金	△116	△133
流動資産合計	191,062	197,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	44,153	41,239
機械装置及び運搬具（純額）	23,213	22,125
土地	15,132	15,046
建設仮勘定	1,542	3,766
その他（純額）	2,127	2,080
有形固定資産合計	86,170	84,258
無形固定資産		
のれん	27	—
ソフトウェア	5,494	4,579
その他	44	42
無形固定資産合計	5,565	4,621
投資その他の資産		
投資有価証券	50,295	36,187
繰延税金資産	2,600	2,241
その他	1,728	1,806
貸倒引当金	△104	△100
投資その他の資産合計	54,520	40,134
固定資産合計	146,255	129,015
資産合計	337,318	326,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,182	22,641
短期借入金	703	1,213
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	225	261
未払法人税等	1,336	1,329
繰延税金負債	72	78
その他	20,653	18,222
流動負債合計	53,173	53,748
固定負債		
社債	35,000	25,000
リース債務	769	724
退職給付引当金	17,615	18,009
負ののれん	49	36
繰延税金負債	11,158	7,976
その他	1,392	1,556
固定負債合計	65,985	53,303
負債合計	119,158	107,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	55,162	54,824
利益剰余金	138,071	140,207
自己株式	△15,202	△7,523
株主資本合計	225,901	235,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,433	7,715
為替換算調整勘定	△19,856	△25,048
その他の包括利益累計額合計	△9,422	△17,333
少数株主持分	1,681	1,520
純資産合計	218,159	219,565
負債純資産合計	337,318	326,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	205,646	204,415
売上原価	147,829	149,853
売上総利益	57,817	54,562
販売費及び一般管理費	32,759	33,736
営業利益	25,057	20,825
営業外収益		
受取利息	844	1,097
受取配当金	472	532
負ののれん償却額	12	12
持分法による投資利益	284	184
その他	775	539
営業外収益合計	2,389	2,366
営業外費用		
支払利息	439	467
為替差損	2,416	2,530
休止固定資産減価償却費	844	674
その他	408	356
営業外費用合計	4,109	4,028
経常利益	23,337	19,163
特別利益		
固定資産売却益	81	76
特別利益合計	81	76
特別損失		
固定資産処分損	144	156
投資有価証券評価損	165	934
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	136	—
特別損失合計	447	1,090
税金等調整前四半期純利益	22,971	18,148
法人税、住民税及び事業税	3,277	3,411
法人税等調整額	42	229
法人税等合計	3,319	3,640
少数株主損益調整前四半期純利益	19,652	14,508
少数株主利益	231	217
四半期純利益	19,420	14,290

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,652	14,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,607	△2,717
為替換算調整勘定	△5,481	△5,144
持分法適用会社に対する持分相当額	△164	△231
その他の包括利益合計	△7,253	△8,092
四半期包括利益	12,398	6,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,186	6,380
少数株主に係る四半期包括利益	212	34

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,971	18,148
減価償却費	12,259	11,132
のれん償却額	99	14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	765	410
受取利息及び受取配当金	△1,316	△1,629
支払利息	439	467
持分法による投資損益 (△は益)	△284	△184
固定資産処分損益 (△は益)	63	80
投資有価証券評価損益 (△は益)	165	934
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,428	△6,166
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,301	△75
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,038	△4,600
その他	△2,338	△2,944
小計	24,056	15,587
利息及び配当金の受取額	1,218	1,439
利息の支払額	△302	△330
法人税等の支払額	△3,117	△3,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,854	13,526
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	793	△771
有価証券の純増減額 (△は増加)	4,624	△5,958
有形固定資産の取得による支出	△5,095	△8,999
有形固定資産の売却による収入	136	195
無形固定資産の取得による支出	△479	△181
投資有価証券の取得による支出	△16,456	△2,631
投資有価証券の売却及び償還による収入	900	5,570
その他	△88	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,666	△12,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△358	567
自己株式の取得による支出	△36	△27
自己株式の売却による収入	0	3
配当金の支払額	△3,595	△4,788
その他	△285	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,276	△4,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,707	△945
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	204	△4,823
現金及び現金同等物の期首残高	46,364	51,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,568	47,064

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報 告 セ グ メ ン ト				そ の 他 (注) 1	合 計	調 整 額	四半期連結 損益計算書 計 上 額 (注) 2
	自 動 車 関 連	情 報 通 信 関 連	セラミック 関 連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	149,029	36,139	17,159	202,328	3,318	205,646	—	205,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	149,029	36,139	17,159	202,328	3,318	205,646	—	205,646
セグメント利益 又は損失(△)	26,743	△2,711	906	24,938	119	25,057	—	25,057

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報 告 セ グ メ ン ト				そ の 他 (注) 1	合 計	調 整 額	四半期連結 損益計算書 計 上 額 (注) 2
	自 動 車 関 連	情 報 通 信 関 連	セラミック 関 連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	159,642	24,031	17,458	201,133	3,282	204,415	—	204,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	159,642	24,031	17,458	201,133	3,282	204,415	—	204,415
セグメント利益 又は損失(△)	24,730	△5,101	1,210	20,840	△15	20,825	—	20,825

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成 23 年 7 月 29 日開催の取締役会決議に基づき、平成 23 年 8 月 4 日付で 600 万株の自己株式の消却を実施しました。これにより、自己株式が 7,702 百万円、資本剰余金及び利益剰余金が 7,702 百万円減少しています。